

# 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福

コード番号 3440 URL https://www.kakou-nisso.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名)諸岡 安名 TEL 092-555-2825

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	13, 152	44. 5	1, 169	118. 9	1, 238	102. 4	868	△53.1
2023年8月期第3四半期	9, 100	75. 7	533	74. 3	611	82. 3	1, 853	847. 0

(注)包括利益 2024年8月期第3四半期 867百万円(△53.2%) 2023年8月期第3四半期1,857百万円(859.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	132. 84	132. 76
2023年8月期第3四半期	285. 63	283. 25

#### (2) 連結財政状態

( = ) (C.18)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	23, 150	11, 835	51.1
2023年8月期	21, 886	11, 163	51.0

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 11,832百万円 2023年8月期 11,161百万円

# 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭		
2023年8月期	_	0. 00	_	30. 00	30.00		
2024年8月期	_	0. 00	_				
2024年8月期(予想)				30.00	30.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	刊益	経常和	J益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	16, 100	28. 3	1, 180	277. 5	1, 184	184. 3	824	△45.9	125. 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名) - 除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無②①以外の会計方針の変更: 無③会計上の見積りの変更: 無④修正再表示: 無

## (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期3Q	6,800,000株	2023年8月期	7, 360, 000株
2024年8月期3Q	259, 350株	2023年8月期	819, 350株
2024年8月期3Q	6, 540, 650株	2023年8月期3Q	6, 489, 936株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期	央算に関する定性的情報	2
(1)経営原	<b>艾績に関する説明</b>	2
(2) 財政	犬態に関する説明	2
(3)連結	<b>業績予想などの将来予測情報に関する説明</b>	3
2. 四半期連	吉財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半	明連結貸借対照表	4
(2) 四半	明連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半	明連結損益計算書	
第	3四半期連結累計期間	6
四半	明連結包括利益計算書	
第	3 四半期連結累計期間	7
(3) 四半	明連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続:	<b>企業の前提に関する注記)</b>	8
(株主	資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計)	<b>5針の変更)</b>	8
(セグ	メント情報)	8
3. 補足情報		10
生産、受活	主及び販売の実績	10

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、世界的な金融 引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクがあり、依然として 先行き不透明な状況が続きました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、金属サンドイッチパネル及び太陽電池アレイ支持架台が伸長したことや、前連結会計年度においてM&Aにより子会社化した株式会社ワタナベテクノス、株式会社天神製作所及びニッタイ工業株式会社の収益貢献により、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,152百万円(前年同四半期比44.5%増)、営業利益は1,169百万円(同118.9%増)、経常利益は1,238百万円(同102.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は868百万円(同53.1%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (金属加工事業)

金属サンドイッチパネル及び太陽電池アレイ支持架台が伸長したことや、前連結会計年度においてM&Aにより子会社化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社天神製作所の業績が期初より貢献し、売上高は6,090百万円(前年同四半期比48.8%増)、セグメント利益は1,163百万円(同210.4%増)となりました。なお、受注高は6,169百万円(同13.6%増)、受注残高は3,079百万円(同2.6%増)となりました。

#### (ゴム加工事業)

産業機器関連及び建設・土木関連の受注が減少したため、売上高は761百万円(前年同四半期比7.5%減)、セグメント利益は91百万円(同39.3%減)となりました。なお、受注高は745百万円(同6.2%減)、受注残高は75百万円(同17.2%減)となりました。

#### (建設事業)

(タイル事業)

グループ間の連携を図り営業活動に取り組みましたが、大型工事の進捗が高い水準にあった前年同四半期の反動減により、売上高は2,346百万円(前年同四半期比29.2%減)、セグメント利益は191百万円(同61.8%減)となりました。なお、受注高は3,862百万円(同13.4%増)、受注残高は4,403百万円(同52.5%増)となりました。

前連結会計年度においてM&Aにより子会社化したニッタイ工業株式会社の業績が期初より貢献し、売上高は3,884百万円(前年同四半期比347.4%増)、セグメント利益は123百万円(前年同四半期はセグメント損失120百万円)となりました。なお、受注高は3,792百万円(同332.2%増)、受注残高は1,086百万円(同7.8%減)となりました。

# (その他)

売上高は70百万円、セグメント損失は34百万円となりました。また、受注高は106百万円、受注残高は59百万円となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△366百万円は、主として各報告セグメントに配分していない 全社費用であります。

#### (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ805百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が557百万円減少し、受取手形、売掛金及び契約資産が334百万円、電子記録債権が568百万円、仕掛品が405百万円、原材料及び貯蔵品が138百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産は8,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円増加いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)が309百万円、のれんが109百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は23,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,264百万円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,357百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が825百万円、流動負債のその他が537百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定負債は4,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ764百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が181百万円、固定負債のその他が573百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ671百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益868百万円の計上及び剰余金の配当196百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.1%(前連結会計年度末は51.0%)となりました。

# (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年1月15日の「2024年8月期第2四半期(累計)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)
Hartert A of Harri

資産の部 流動資産 現金及び預金	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
流動資産		
租全及75箱全		
元亚次 0 1 京亚	7, 291, 401	6, 734, 334
受取手形、売掛金及び契約資産	3, 106, 958	3, 441, 559
電子記録債権	953, 207	1, 521, 734
商品及び製品	1, 191, 927	1, 220, 123
仕掛品	472, 370	877, 578
未成工事支出金	76, 215	35, 883
原材料及び貯蔵品	709, 676	848, 462
その他	359, 744	294, 968
貸倒引当金	△3, 284	△10, 700
流動資産合計	14, 158, 217	14, 963, 944
固定資産		
有形固定資產		
建物及び構築物(純額)	2, 418, 664	2, 396, 672
機械装置及び運搬具(純額)	1, 347, 520	1, 656, 823
土地	2, 731, 415	2, 821, 996
リース資産(純額)	44, 611	53, 397
建設仮勘定	99, 773	<del>-</del>
その他(純額)	70, 703	78, 972
有形固定資産合計	6, 712, 688	7, 007, 862
無形固定資產		
のれん	447, 331	557, 174
その他	103, 014	108, 700
無形固定資產合計	550, 346	665, 875
投資その他の資産		
投資有価証券	99, 367	199, 213
その他	365, 824	323, 091
貸倒引当金	-	△9, 130
投資その他の資産合計	465, 192	513, 175
固定資産合計	7, 728, 226	8, 186, 912
資産合計	21, 886, 443	23, 150, 856

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部	(2023年6月31日)	(2024年3月31日)
流動負債		
支払手形及び買掛金	773, 603	758, 794
工事未払金	142, 341	224, 533
短期借入金	1, 950, 000	2, 775, 000
1年内返済予定の長期借入金	1, 091, 146	1, 057, 636
未払法人税等	301, 575	207, 860
賞与引当金	130, 419	200, 084
工事損失引当金	14, 825	
その他	1, 070, 095	1, 607, 737
流動負債合計	5, 474, 005	6, 831, 646
固定負債		-,,
長期借入金	3, 981, 526	3, 800, 068
退職給付に係る負債	155, 036	145, 396
資産除去債務	232, 890	232, 930
その他	879, 055	305, 491
固定負債合計	5, 248, 508	4, 483, 887
負債合計	10, 722, 514	11, 315, 533
純資産の部		, ,
株主資本		
資本金	1, 176, 968	1, 176, 968
資本剰余金	1, 096, 968	1, 096, 968
利益剰余金	9, 533, 978	9, 759, 190
自己株式	△654, 674	△207, 223
株主資本合計	11, 153, 239	11, 825, 902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7, 790	6, 520
その他の包括利益累計額合計	7, 790	6, 520
新株予約権	2, 900	2,900
純資産合計	11, 163, 929	11, 835, 323
負債純資産合計	21, 886, 443	23, 150, 856
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,,

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(平位・111)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	9, 100, 597	13, 152, 970
売上原価	7, 026, 077	9, 409, 980
売上総利益	2, 074, 520	3, 742, 990
販売費及び一般管理費	1, 540, 588	2, 573, 973
営業利益	533, 932	1, 169, 017
営業外収益		
受取利息	46	75
受取配当金	2, 218	1, 968
売電収入	9, 660	22, 715
補助金収入	75, 538	13, 228
その他	16, 595	64, 320
営業外収益合計	104, 059	102, 309
営業外費用		
支払利息	19, 964	28, 362
その他	6, 092	4, 644
営業外費用合計	26, 056	33, 006
経常利益	611, 935	1, 238, 319
特別利益		
固定資産売却益	429	3, 844
負ののれん発生益	1, 535, 686	_
投資有価証券売却益	270	4, 166
役員退職慰労金戻入額	<u> </u>	10, 000
特別利益合計	1, 536, 387	18, 011
特別損失		
固定資産売却損	222	1, 310
固定資産除却損	1, 116	1, 015
投資有価証券売却損	849	4, 239
ゴルフ会員権売却損		4, 683
特別損失合計	2, 188	11, 248
税金等調整前四半期純利益	2, 146, 134	1, 245, 081
法人税、住民税及び事業税	299, 931	361, 559
法人税等調整額	△7, 533	14, 639
法人税等合計	292, 397	376, 198
四半期純利益	1, 853, 736	868, 883
非支配株主に帰属する四半期純利益		_
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 853, 736	868, 883

867, 613

# (四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

親会社株主に係る四半期包括利益

非支配株主に係る四半期包括利益

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	1, 853, 736	868, 883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3, 946	△1, 269
その他の包括利益合計	3, 946	△1, 269
四半期包括利益	1, 857, 683	867, 613
(内訳)		

1, 857, 683

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2023年10月13日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月27日付で、自己株式560,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ447,451千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が9,759,190千円、自己株式が207,223千円となっております。

#### (会計方針の変更)

該当事項はありません。

#### (セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日 至2023年5月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	(中區・1						
		幸	調整額	四半期連結損			
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイル事業	計	(注) 1	益計算書計上 額(注)2
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	4, 012, 725	823, 062	3, 316, 591	868, 224	9, 020, 604	_	9, 020, 604
その他の収益	79, 993	_	_	_	79, 993	_	79, 993
外部顧客への売上高	4, 092, 719	823, 062	3, 316, 591	868, 224	9, 100, 597	_	9, 100, 597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251, 862	4, 117	14, 760	40	270, 780	△270, 780	_
計	4, 344, 581	827, 179	3, 331, 351	868, 265	9, 371, 377	△270, 780	9, 100, 597
セグメント利益又は損失 (△)	374, 794	151, 186	500, 282	△120, 938	905, 324	△371, 391	533, 932

- (注) 1. セグメント利益の調整額△371,391千円は、セグメント間取引消去11,811千円、子会社株式の取得関連費用△145,320千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237,882千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

第2四半期連結会計期間において、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、報告セグメントとして「タイル事業」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工事業」セグメントにおいて、株式会社天神製作所を子会社化したことに伴い、同社を当第 3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、251,110千円であります。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年9月1日 至2024年5月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

								( -	型. 1 円/
	報告セグメント					その他		調整額	四半期連結損
金属	金属加工事業	ゴム加工 事業	建設事業	タイル事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	益計算書計上額(注)3
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	6, 089, 411	761, 564	2, 346, 579	3, 884, 218	13, 081, 774	70, 358	13, 152, 133	_	13, 152, 133
その他の収益	837	_	_	_	837	_	837	_	837
外部顧客への売上 高	6, 090, 249	761, 564	2, 346, 579	3, 884, 218	13, 082, 611	70, 358	13, 152, 970	_	13, 152, 970
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	350, 844	538	_	50	351, 433	l	351, 433	△351, 433	l
計	6, 441, 093	762, 103	2, 346, 579	3, 884, 268	13, 434, 044	70, 358	13, 504, 403	△351, 433	13, 152, 970
セグメント利益又は 損失 (△)	1, 163, 338	91, 747	191, 342	123, 281	1, 569, 708	△34, 217	1, 535, 491	△366, 474	1, 169, 017

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び木材加工を含んでおります。
  - 2. セグメント利益又は損失の調整額 $\triangle$ 366,474千円は、セグメント間取引消去25,785千円、子会社株式の取得関連費用 $\triangle$ 57,437千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 334,822千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

#### ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)			
	金額 (千円)	前年同四半期比(%)		
金属加工事業	4, 345, 425	143. 1		
ゴム加工事業	424, 129	98. 3		
タイル事業	717, 210	369. 8		
슴콹	5, 486, 765	149.8		

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
  - 2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績は記載しておりません。

#### ②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)				
	受注高 (千円)	前年同四半期比(%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比(%)	
金属加工事業	6, 169, 584	113.6	3, 079, 893	102.6	
ゴム加工事業	745, 840	93.8	75, 544	82.8	
建設事業	3, 862, 541	113. 4	4, 403, 659	152.5	
タイル事業	3, 792, 878	432. 2	1, 086, 477	92. 2	
その他	106, 964	_	59, 247	_	
合計	14, 677, 809	139. 7	8, 704, 821	121.6	

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

# ③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

コガルローが圧相が用が放力大幅とモノノン「ここにがっこ、バッとものりよう。						
セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)					
	金額 (千円)	前年同四半期比(%)				
金属加工事業	6, 090, 249	148. 8				
ゴム加工事業	761, 564	92. 5				
建設事業	2, 346, 579	70.8				
タイル事業	3, 884, 218	447. 4				
その他	70, 358	_				
合計	13, 152, 970	144. 5				

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
  - 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	* * * *	連結累計期間 〒9月1日 〒5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)		
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)	
株式会社大林組	1, 367, 748	15. 0	_	_	

当第3四半期連結累計期間の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。